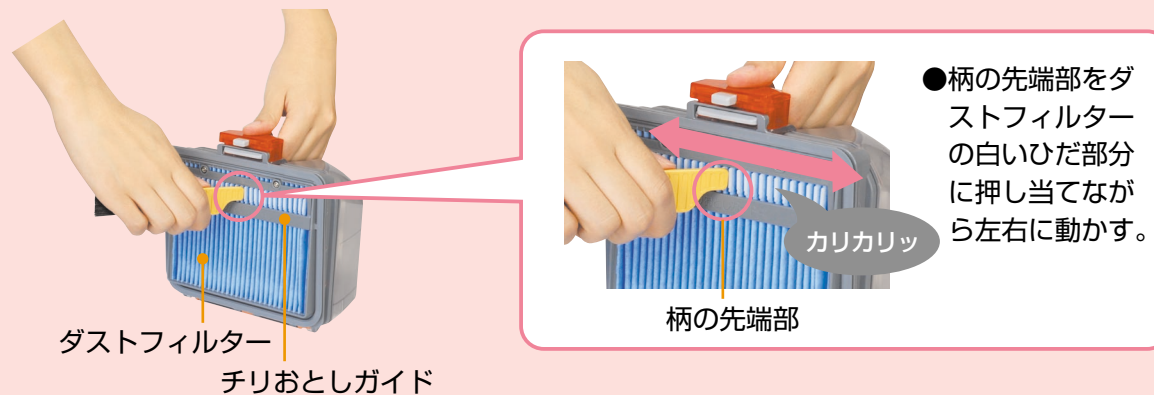


# フィルターのお手入れのしかた

●「本体のランプが赤点滅した」「吸込力が弱くなった」ときは、ダストケースの各フィルターに付着したごみを取り除いてください。

**1** 付属の抗菌お手入れブラシの柄の先端部を、ダストフィルターの白いひだ部分に押し当てながら、チリおとしガイドにそわせて左右に5往復程度動かす  
(これによりダストフィルターが振動し、付着したチリがダストケース内に落ちます。)



**2** ごみを捨て、付属の抗菌お手入れブラシで、メッシュフィルターとダストフィルターに付着したごみを取り除く



**3** 内筒フィルターを取り外し、付着したごみを取り除く

**1** 取り出しボタンを押して



**2** 内筒フィルターを取り外す



■「メッシュフィルター」「ダストフィルター」「内筒フィルター」は水洗いができます。「ごみを取り除いても、吸込力が回復しない」「汚れが気になるとき」は、各フィルターを水洗いしてください。水洗い後は十分に自然乾燥させてください。乾燥には約12時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります。)

## 故障かなと思ったら

修理を依頼される前に、「取扱説明書」の「故障かなと思ったら」をもう一度ご確認ください。

# カンタンお手入れガイド

詳しくは「取扱説明書」をご覧ください。

●サイクロン式のクリーナーは、「紙パックがいらない」という特長を持っていますが、強い吸込力で掃除していただくため、こまめなごみ捨て、フィルターのお手入れをおすすめします。

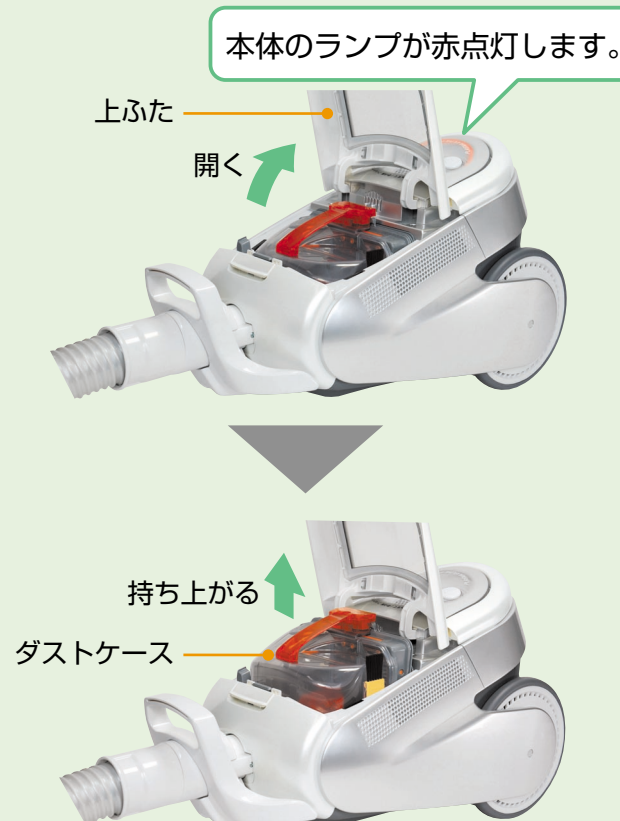
## ダストケース自動リフトアップ機構について

手もと操作部の「切」スイッチを押して本体の運転を止めたときに、センサーがダストケースのごみがいっぱいになったことを感知すると、自動で上ふたが開いてダストケースが持ち上がります。このときは、ダストケースのごみを捨ててください。

●ごみがいっぱいになったことを、音声ナビゲーションでお知らせします。



●自動で上ふたが開いて、ダストケースが持ち上がります。



### お願い

●ダストケースが汚れていると、センサーがごみのたまり具合を正しく感知できず、ごみがいっぱいになっていなくても「ダストケース自動リフトアップ機構」が作動することがあります。このようなときは、ダストケースを水洗いするなどして、汚れを落としてください。



●中面の「ごみの捨てかた」の手順でごみを捨ててください。

# ごみの捨てかた

●ダストケースのごみは、「ごみすてライン」を目安に捨ててください。



## 1 ダストケースを本体から取り出す

1 電源プラグをコンセントに差し込む

2 ふたクランプを押す

●上ふたが開き、音声ナビゲーションでお知らせして、ダストケースが電動で持ち上がります。

音声でお知らせ

ダストケースが自動で持ち上がります。

本体のランプが赤点灯します。



3 ダストケースを取り出す



お願い

●ダストケースを取り出すときは、「ごみ捨てボタン」を押したり、「集じん口」を下に向けしないでください。ごみがこぼれる場合があります。

お知らせ

●電動で持ち上がったダストケースは、いったん取り出さないと、元どおり本体に取り付けできません。いったん取り出さずに無理に押さえつくと、本体やダストケースが破損するおそれがあります。

●電源プラグをコンセントに差し込んでいないときは、ダストケースを手動で取り出してください。

1 ふたクランプを押す  
(上ふたが開く)



2 ダストケースを取り出す

① 本体の前側を手で押さえる

② まっすぐ上に強く引き上げる



## 2 ダストケースのごみを捨てる

1 ダストケースを大きめのごみ袋などに入れ、ごみ捨てボタンを押す



お願い

●ごみが出にくい場合は、ダストケースの側面をたたくなどして振動を加えてください。

2 付属の抗菌お手入れブラシで、メッシュフィルターに付着したごみを取り除く



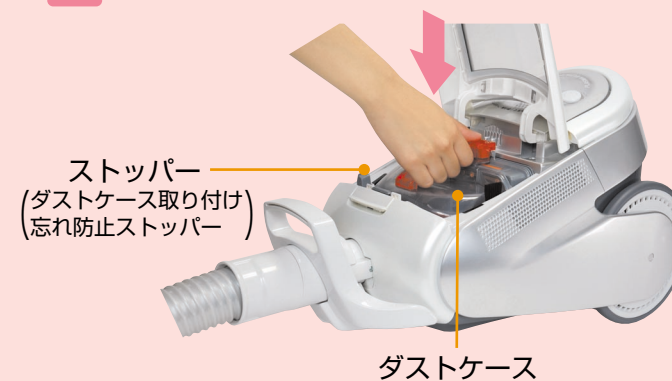
⚠ 注意

けがのおそれあり

●ガラスの破片や虫ピンなど、鋭利なものを誤って吸い込んだときは、手を直接触れないでください。

## 3 ダストケースを本体に取り付ける

1 ダストケースを奥まで入れる



2 上ふたを閉める



お願い

●ダストケースが奥まで入っていない状態で本体を運転した場合、ダストケース付近から「ピー」という異音が発生することがあります。しっかり奥まで入れてください。

●ダストケースが取り付けられていない状態では、ストッパーの働きにより、上ふたが閉まりません。必ず、ダストケースを取り付けてから、上ふたを閉めてください。